



学校法人 医療創生大学  
千葉・柏リハビリテーション学院

2021年度  
学校関係者評価

I. 学校関係者評価委員（敬称略・順不同）

・関 敏昭

医療法人社団創造会 平和台病院 リハビリテーション科統括課長

・土居 義典

千葉県作業療法士会 理事

・宮下 雅史

千葉・柏リハビリテーション学院 非常勤講師

・五十嵐 和人

医療法人社団葵会 千葉・柏リハビリテーション病院 事務長

### III. 評価項目と評価基準

<b>1. 教育理念・目的・育人人材像等</b>	
1-1	学校の理念・目的・目標は定められているか
1-2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか
1-3	学校の理念・目的・育人人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか
1-4	各学科の教育目標、育人人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか
<b>2. 学校運営</b>	
2-1	目的等に沿った運営方針が策定されているか
2-2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか
2-3	運営組織は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか
2-4	人事、給与に関する規程等は整備されているか
2-5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか
2-6	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか
2-7	情報システム化等による業務の効率化が図られているか
<b>3. 教育活動</b>	
3-1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか
3-2	教育理念、育人人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか
3-3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか
3-4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか
3-5	関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか
3-6	授業評価の実施・評価体制はあるか
3-7	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか
3-8	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか
3-9	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか
3-10	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか
3-11	関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか
3-12	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組みが行われているか
3-13	職員の能力開発のための研修等が行われているか
<b>4. 学習成果</b>	
4-1	就職率の向上が図られているか
4-2	資格取得率の向上が図られているか
4-3	退学率の低減が図られているか

<b>5. 学生支援</b>	
5-1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか
5-2	学生相談に関する体制は整備されているか
5-3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか
5-4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか
5-5	課外活動に対する支援体制は整備されているか
5-6	学生の生活環境への支援は行われているか
5-7	保護者と適切に連携しているか
5-8	卒業生への支援体制はあるか
5-9	社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか
5-10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか
<b>6. 教育環境</b>	
6-1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか
6-2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか
6-3	防災に対する体制は整備されているか
<b>7. 学生募集と受入れ</b>	
7-1	学生募集活動は、適正に行われているか
7-2	学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか
7-3	学納金は妥当なものとなっているか
<b>8. 財務</b>	
8-1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか
8-2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか
8-3	財務について会計監査が適正におこなわれているか
8-4	財務情報公開の体制整備はできているか
<b>9. 法令等の遵守</b>	
9-1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか
9-2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか
9-3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか
9-4	自己評価結果を公開しているか
<b>10. 社会貢献</b>	
10-1	学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか
10-2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

評価基準 4：適切 3：ほぼ適切 2：やや不適切 1：不適切 0：未実施

## IV. 評価結果

### 1. 教育理念・目的・育成人材像等

1-1 学校の理念・目的・目標は定められているか

評価：4/学校の理念・目的・目標を定めている。(教育要項参照)

1-2 社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか

評価：4/社会的なニーズを踏まえて、主体的に考え実践できる学生の育成に努めた。

1-3 学校の理念・目的・育成人材・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか

評価：4/教育要項への掲載や入学時のガイダンス等で学生および保護者に周知している。

1-4 各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか

評価：4/学科ごとに教育目標を定め、理学療法士・作業療法士の育成に努めた。

#### 課題と改善方策

2020年度より変わりなく、教育理念を基に育成につとめた。

今後も継続していく。

## 2. 学校運営

2-1 目的等に沿った運営方針が策定されているか

評価：4/目的に沿った運営方針を策定している。

2-2 運営方針に沿った事業計画が策定されているか

評価：4/上記の運営方針に則った事業計画を策定している。

2-3 運営組織は、規則等において明確化されているか、また、有効に機能しているか

評価：4/運営組織における規則の明確化はなされており、有効に機能している。

2-4 人事、給与に関する規程等は整備されているか

評価：4/各規程の整備はされている。

2-5 教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか

評価：4/教務・財務等の組織は整備されている。

2-6 教育活動等に関する情報公開が適切になされているか

評価：4/学院専用の SNS にて適切に情報発信を行った。

2-7 情報システム化等による業務の効率化が図られているか

評価：4/学籍管理、成績管理などをシステム管理している。また教員間での業務の連携をネットワークサーバーにて可能とし、効率化を行っている。

### 課題と改善方策

(2020)

学院ホームページや SNS にて教育活動の情報発信を公開してきた。

今後もより情報発信に力を入れていく。

(2021)

2020 年度より更に SNS を利用した情報発信に注力した。

今後も同様に学院ホームページや SNS を利用し情報発信を実施していく。

### 3. 教育活動

#### 3-1 教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか

評価：4/教育理念に沿って主体的に考え実践できる学生の育成に努めている。またその育成を3年間で完成できるようにカリキュラムを編成している。

#### 3-2 教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか

評価：4/新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に登校を制限し、オンラインによる遠隔授業を導入し学習時間の確保を行った。また遠隔授業の導入により教育到達レベルの修正を実施しシラバスなどにより学生・保護者に対して報告している。

評価：4/前年度より引き続き新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、多くの科目を対面式の授業に切り替えた。遠隔で継続した授業もあるが適切に学習時間を確保しており、かつ学生・保護者に対しても明確に提示している。

#### 3-3 学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか

評価：4/学科ごとのカリキュラムを体系的に編成している。

#### 3-4 キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか

評価：4/遠隔授業への切り替えの際に科目担当者が授業計画を再構築した。

評価：4/2020年度は多くの授業を遠隔授業にて実施してきたが、2021年度は感染対策を講じながら対面授業へと切り替えた。対面、遠隔と切り替えるごとに、科目担当者が再度授業計画を構築している。

#### 3-5 関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ実技・実習等）が体系的に位置づけられているか

評価：4/例年であれば学生が段階的に修学できるように実習を実施しているが、新型コロナウイルス感染症の影響により一部を学内実習に切り替えた。学内でも職業教育につながるよう実施した。

評価：4/職業教育を体系的に位置付けているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、前年度と同様に一部を学内演習に切り替えて実施した。ただし学内でもあっても職業教育として位置づけ、適切に運用している。

#### 3-6 授業評価の実施・評価体制はあるか

評価：4/改めて対面授業とは別に遠隔授業の授業評価を作成し、実施した。

評価：4/全ての科目に対して授業評価を実施している。

#### 3-7 職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか

評価：4/4名の評価員による学校関係者評価を継続している。

#### 3-8 成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか

評価：4/各基準は明確となっている。

3-9 資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか

評価：4/理学療法士作業療法士学校養成所指定規則などにに基づきカリキュラムを編成し、1年次より段階的に修学が行えるように指導体制を整えている。

3-10 人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか

評価：4/8月に理学療法学科教員1名が退職したが、すぐに募集を行い11月に補充している。

評価：2/理学療法学科は要件を備えた教員を確保している。作業療法学科については不足していたため、募集を継続してきた。

3-11 関連分野における業界との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか

評価：4/学科ごとに臨床での実践経験の豊かな理学療法士・作業療法士を講師として教育を実施している。

3-12 関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取り組みが行われているか

評価：4/新型コロナウイルス感染症の影響により、本年度は例年実施している理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教育講習会への参加は見送った。しかしながら教員ごとにオンライン学会等に参加し、先端的な知識・技能の修得に向け研鑽を積んだ。

評価：4/理学療法学科より教員1名が理学療法士・作業療法士・言語聴覚士養成施設教育講習会へオンラインにて参加した。

3-13 職員の能力開発のための研修等が行われているか

評価：4/遠隔での実習指導者講習会参加など、研鑽を行った。

課題と改善方策

(2020)

新型コロナウイルス感染症の影響により、オンラインによる遠隔授業を導入した。学外施設との連携は減少したものの、遠隔授業を整備し学内実習を充実させることにより、学習時間を確保した。

(2021)

一部、前年度と同様に遠隔授業で実施したが、大多数の科目に関しては対面授業にて実施した。遠隔授業は、学生の受講の習熟度が上がっていることもあり、大きな混乱は見られなかった。しかしながら社会的な混乱は多く残っており、外部施設との関係は今一度見直さなければならなかった。そのため一部、外部施設での実習は、学生の安全も考慮したため学内演習に切り替えて、学習時間の確保を行っている。作業療法学科の教員数においては、急ぎ補充できるよう確保に努めている。

## 4. 学習成果

### 4-1 就職率の向上が図られているか

評価：4／卒業生すべての就職を達成しており、また各学生の希望に応じた就職も達成できた。

### 4-2 資格取得率の向上が図られているか

評価：4／最終学年の学生すべての資格修得を目指し、毎年の受験数・合格率・各学生の状況を正確に把握している。

### 4-3 退学率の低減が図られているか

評価：3／例年に比べ退学者数は減少傾向にあるものの、一定数の退学者は引き続き認められた。

評価：3／一定数の退学者が認められた。

## 課題と改善方策

(2020)

退学者低減への対策を講じてきたが、一定数の退学者が認められた。新型コロナウイルス感染症の影響による経済的な原因での退学者はなく、主に進路変更する退学者であった。

(2021)

退学者数を減らすための対策、具体的に面談数の増加や学生相談室への導入などを講じてきたが、一定数の退学者が認められた。傾向としてはモチベーションの低下が主で、次に学習についていけない、人間関係が構築できないことなどが挙げられた。対策を講じてきたが、退学を決めた学生の傾向として本年度は、担任や教員と話合うのではなく、まず自身で退学を決め、保護者と話し合ってから学院へ報告することが多く、面談しても意志が変わらない学生が多くみられた。

今後の対策として、より早い段階での介入（出欠席数やクラスメイトとの人間関係の把握）や入学前教育結果の活用、保護者との連携を密にし、減少への対策を図っていく。

## 5. 学生支援

### 5-1 進路・就職に関する支援体制は整備されているか

評価：4/例年実施している外部施設の就職担当者来校型の就職相談会を中止し、オンラインによる遠隔型の就職相談会を実施した。また学内では学生が求人票を閲覧できるコーナーを設置している。

評価：4/求人票を閲覧できるコーナーは引き続き設置している。また求人票を学内システムで配信し、いつでも確認できるようにした。本年度は感染症対策を考慮しながら、外部施設の就職担当者来校型の就職相談会を実施した。

### 5-2 学生相談に関する体制は整備されているか

評価：4/学生相談室を設置し、臨床心理士が学生のカウンセリングを実施している。

### 5-3 学生に対する経済的な支援体制は整備されているか

評価：4/奨学金支援制度を学生に紹介の上、手続き支援を実施している。また担当職員が定期的に説明会を開催している。

### 5-4 学生の健康管理を担う組織体制はあるか

評価：4/健康診断を実施の上、学生すべての結果を管理している。  
また感染対策に対するガイドラインを定め、日々の体調管理を実施している。

### 5-5 課外活動に対する支援体制は整備されているか

評価：0/新型コロナウイルス感染症の影響により、学生の安全確保および感染拡大防止のため、すべてのサークル活動を中止した。

評価：0/昨年度と引き続き、学生の安全確保のため全てのサークル活動はすべて中止した。

### 5-6 学生の生活環境への支援は行われているか

評価：4/遠方からの入学者に対して学生寮の紹介を実施した。また入居費用の補助を実施した。

### 5-7 保護者と適切に連携しているか

評価：4/新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している保護者会は中止した。しかしながら学生の健康面を中心に電話連絡にて密に連携をとることができた。

評価：4/入学時ガイダンスは時間を限定した形で実施した。学期途中などで実施している保護者会については新型コロナウイルス感染症の状況を鑑みて、中止とした。学習面や出欠席に対しては担任からの電話連絡を密に行い、適切な連携がとれている。

### 5-8 卒業生への支援体制はあるか

評価：0/新型コロナウイルス感染症の影響により、卒業生の学院利用を一時停止した。

評価：3/新型コロナウイルス感染症の影響を鑑み、当日の学院利用は不可とし、事前連絡から利用数を把握するなど、卒業生の学院利用は一部制限した。

5-9 社会のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか

評価：4／入学時に ipad を貸与し、学習支援システムの導入にて環境を整備している。

評価：4／学習支援システムを導入しており、学生の教育環境を整備している。

5-10 高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組みが行われているか

評価：0／新型コロナウイルス感染症の影響により学院から高校等に赴き講演を実施するなどの行為を中止した。

評価：4／感染対策に講じながら、段階的に高校との連携を増やし、講演や説明会などを実施した。

課題と改善方策

(2020)

感染対策委員会を中心に新型コロナウイルス感染症に対するガイドラインを作成し、学生の体調管理を実施した。課外活動などの一切を停止し外部との接触は自粛した。また卒業生の学院利用を一時停止した。

(2021)

学生支援については感染対策を講じながら、段階的に通常の運営に戻していった。しかしながらサークル活動などの一部外部との接触が多いものについては、自粛した。今後も社会の状況を把握しながら慎重に外部とのつながりを増やし、学生支援を実施していく。

## 6. 教育環境

### 6-1 施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか

評価：4／新型コロナウイルス感染症のため、オンラインによる遠隔授業を導入した。その際安定した授業を実施できるよう、各設備を整備した。

評価：4／各講義室に TV モニターを導入して、授業に活用している。

### 6-2 学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか

評価：0／新型コロナウイルス感染症の影響により、臨地実習を学内実習に置き換え、学外の実習施設の利用を制限した。

評価：3／学外の教育体制においては、前年度の学内実習から、受け入れ状況を考慮しながら徐々に増やしており、再度、十分な教育体制がとれるよう整備した。しかしながら未だ新型コロナウイルス感染症の状況は残存しており、日々変化しているため、状況に応じて、学生に不利益がないよう整備していく。

### 6-3 防災に対する体制は整備されているか

評価：4／防災マニュアルを策定し、学生にも通達している。また年に一度の防災訓練を実施し、全学生が参加している。

## 課題と改善方策

(2020)

新型コロナウイルス感染症の影響により、実習などの学外施設への関りは最小限とした。学内においては遠隔授業に対応する設備の整備に努めた。

(2021)

2020年には新たに机・椅子を導入し、2021年には講義室に TV モニターを導入するなど、計画的に教育環境を整えている。今後は当面の間、現在の教育環境の保全・維持に努める。

## 7. 学生募集と受入れ

### 7-1 学生募集活動は、適正に行われているか

評価：4／学生募集は適正に行われており、2021年度の定員は充足した。また学生募集要項を毎年更新し明確化している。

### 7-2 学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか

評価：4／オープンキャンパスにおいて、国家試験合格率や就職率の状況を説明している。

### 7-3 学納金は妥当なものとなっているか

評価：4／学納金は社会状況を踏まえ適切に設定している。

### 課題と改善方策

(2020)

各項目について問題なく実施できている。

(2021)

前年度同様、学生募集と受入れにおける各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

## 8. 財務

8-1 中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか

評価：4/安定しているといえる。

8-2 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

評価：4/十分に精査したうえで、予算書の作成を実施した。

8-3 財務について会計監査が適正におこなわれているか

評価：4/会計士による監査を実施した。

8-4 財務情報公開の体制整備はできているか

評価：4/ホームページにて情報を公開している。

### 課題と改善方策

(2020)

各項目について問題なく実施できている。

(2021)

前年度同様、財務における各項目は適切に運用している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

## 9. 法令等の遵守

9-1 法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか

評価：4/指定規則の改定により、新たに教育備品を整備した。

評価：4/指定規則に則り、適切に運営している。

9-2 個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか

評価：4/個人情報の取り扱いに関する規程を設け、必要な書類の完備および適切な保管を行っている。

9-3 自己評価の実施と問題点の改善を行っているか

評価：4/自己評価を実施し、問題点の洗い出しおよび改善を実施した。

9-4 自己評価結果を公開しているか

評価：4/公開を実施している。

### 課題と改善方策

(2020)

指定規則の改定があったが、新たに教育備品を整備することで、各項目について問題なく実施できている。

(2021)

前年度同様、法令を遵守し学校運営を実施している。

今後も継続して適切な運用に努めていく。

## 10. 社会貢献

### 10-1 学生の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか

評価：0／新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施している地域貢献活動は全て中止した。

評価：0／依頼を受け実施予定ではあったが、新型コロナウイルス感染症の影響により先方から延期の連絡を受け、年度内の実施には至らなかった。

### 10-2 学生のボランティア活動を奨励、支援しているか

評価：0／新型コロナウイルス感染症の影響により、例年実施しているボランティア活動は全て中止した。

### 課題と改善方策

(2020)

例年実施している地域貢献やサークル活動は、学生の安全確保および新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今年度の実施を見送った。

(2021)

感染対策に講じながら、段階的に社会貢献の場を増やしていけるよう計画している。しかしながら現在の社会情勢を考慮しながら慎重に進めていく。